

islonline

ISL Online Conference Proxy

ユーザーズマニュアル

ISL OnlineTM

目次

1	ISL Online オンプレミスライセンスについて.....	3
2	ISL Conference Proxy のインストール	6
3	アップグレード	15
4	ネットワークの設定.....	20
3	ISL Conference Proxy の各種設定について	24
4	ISL AlwaysOn.....	27
5	サービスのコントロール	36
6	ユーザーの管理	38
7	モニタリング	43
8	プロダクトログインページ.....	47
9	ISL Conference Proxy の移行	52
10	ISL Conference Proxy のアンインストール	54

1 ISL Online オンプレミスライセンスについて

ISL Online オンプレミスライセンスを使用すると、自社のサーバーで稼働する ISL Light および ISL AlwaysOn のシステムを構築することができます。クラウドライセンスのようにインターネットを経由しないため(自社内のネットワークのみで使用する場合)、セッションを完全にコントロールすることができるようになります。

このガイドでは、ISL Online オンプレミスライセンスでセッションの接続やユーザーの管理を行うためのプログラムである、ISL Conference Proxy のインストールおよび設定方法について説明します。なお、ISL Conference Proxy をインストールし、ISL Online オンプレミスライセンスを使用できるようにするには、ネットワークやサーバーの仕組みについて理解している必要があります。

ISL Conference Proxy のインストールを開始する際は、事前に下記の必要システム構成を確認してください。また、すでに設定済みの ISL Conference Proxy を最新版にアップグレードする場合は「3 アップグレード」を参照してください。

クラウドライセンス（クラウドライセンス年間契約またはプリペイドクーポン）を使用する場合は、ISL Conference Proxy をインストールする必要はありません。



ISL Conference Proxy をインストールするための必要システム構成

オペレーティングシステム

- ・ Microsoft Windows Server 2003 (32bit)
- ・ Microsoft Windows Server 2003 R2 (32bit)
- ・ Microsoft Windows Server 2008 (32bit) ※1
- ・ Microsoft Windows Server 2008 R2 (64bit) ※2

※1) Windows Server 2008 R2 の Hyper-V 上で動作するゲスト OS 「Windows Server 2008 32bit および 2008 R2」 に対応

※2) VMware ESXi 4.1 上で動作するゲスト OS 「Windows Server 2008 R2」 に対応

ハードウェア要件 (最小構成)

- ・ 2.0GHz 以上の Intel または AMD プロセッサ
- ・ 2GB の RAM
- ・ 5GB のディスク空き容量

インターネット接続

- ・ 最低速度: 256Kbps の DSL

アプリケーション

ISL Online は、以下の 4 つのアプリケーションで構成されています。ISL Conference Proxy は、ISL Light および ISL AlwaysOn で接続を行う際に通信を中継するサーバーアプリケーションです。リモートサポートを提供するオペレータは ISL Light Desk を使用し、リモートサポートを受けるエンドユーザーは ISL Light Client を使用します。無人の PC やサーバーにアクセスを行いたい場合は、ISL AlwaysOn を使用します。

- ・ ISL Conference Proxy
- ・ ISL Light Desk
- ・ ISL Light Client
- ・ ISL AlwaysOn

セッション実行可能台数

ISL Conference Proxy がインストールされた一つのサーバーを使用して実行できるセッション数の上限は 50 セッションです。なお、50 セッションに満たない場合でも、画面共有時の描画が遅くなるなどの現象が発生する場合があります。その場合は、サーバーの追加を検討してください。

ISL AlwaysOn 登録可能台数

ISL Conference Proxy がインストールされた一つのサーバーに登録できる ISL AlwaysOn のインストール済みクライアント端末数の上限は 10,000 台です。

2 ISL Conference Proxy のインストール

ISL Conference Proxy をインストールする際は、以下の手順に従います。

- 2.1 ライセンスファイル（パケット）とインストーラーの取得
- 2.2 ISL Conference Proxy のインストール
- 2.3 ライセンスファイルの適用
- 2.4 オンラインアップデート

※[2.1] については、インターネットに接続した環境で行う必要があります。

※[2.4] については、ISL Conferenc Proxy のインストール先サーバーがインターネットに接続されていない状態でもアップデートが可能です。詳細は P17 を参照してください

2.1 ライセンスファイル（パケット）とインストーラーの取得

- 2.1.1 ISL Online のトップページ(<http://www.islonline.jp/>)から、マイアカウントページにログインします。

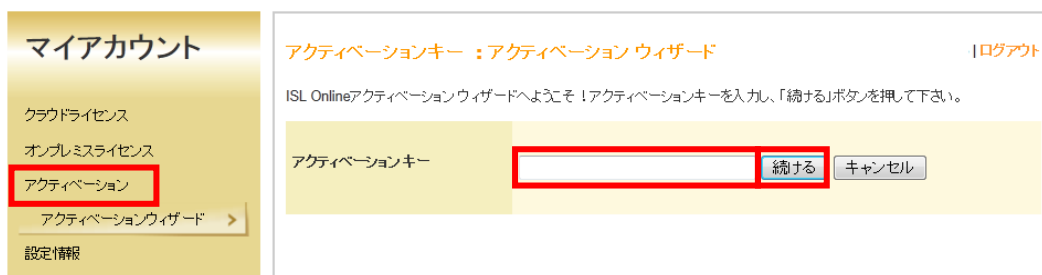
購入前ユーザーの方：「今すぐ登録」をクリックし、無料体験用アカウントを作成します。アカウントを取得したら、登録に使用した Email アドレスと通知されたパスワードを使用してマイアカウントページにログインします。

購入後ユーザーの方：登録済み Email アドレスとパスワードを入力し、マイアカウントページにログインします。

2.1.2 アクティベーションキーの登録

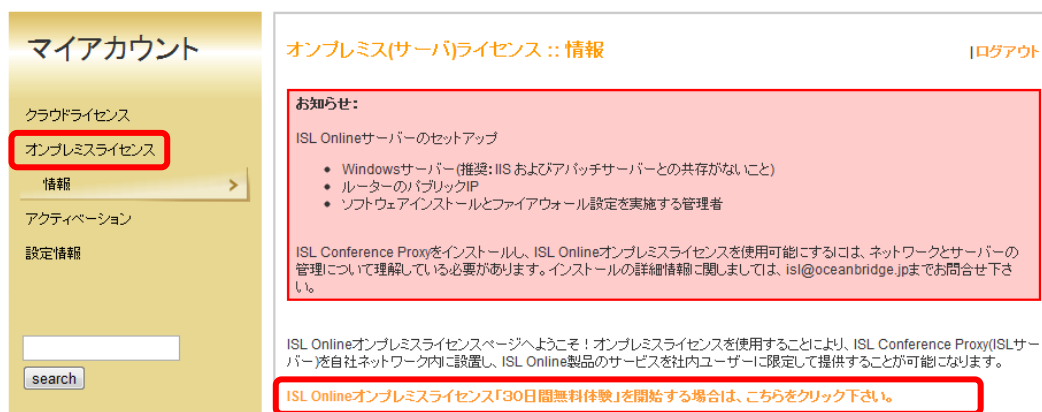
購入前ユーザーの方： このステップを飛ばし、ステップ 2.1.3 に進んでください。

購入後ユーザーの方： 左側のナビゲーションメニューから[アクティベーション]を選択し、アクティベーションキーを入力後、[続ける]ボタンをクリックし、ウィザードの指示に従ってライセンスを有効化します。



2.1.3 パケットの新規作成

購入前ユーザーの方のみ： 左側のメニューから[オンプレミスライセンス]を選択し、「ISL Online オンプレミスライセンス「30日間無料体験」を開始する場合は、こちらをクリックしてください。」のリンクをクリックします。



購入前および購入後ユーザー共通： 左側のメニューから[オンプレミスライセンス]を選択し、メイン画面で[パケットの新規作成]をクリックします。

マイアカウント

クラウドライセンス

オンプレミスライセンス

情報

パケット

ライセンス履歴

アクティベーション

設定情報

search

オンプレミス(サーバ)ライセンス :: 情報 | ログアウト

ISL Onlineオンプレミスライセンス30日間無料体験の手続きが完了しました。ISL Online システムが貴社サーバ上で稼動するための設定を行います。次のステップに進んで下さい。

ISL Onlineサーバインストール・設定ガイドはこちらをご参照下さい。

- パケットの新規作成:** ISL Onlineシステムを貴社サーバ上で稼動するための設定を行います。「パケットの新規作成リンクをクリックし、サーバのIPアドレスまたはDNS名を入力して下さい。入力された情報がISL Light Desk、ISL Light Client、ISL Conference Proxyの各アプリケーションに組み込まれます。貴社のネットワーク外からもサーバにアクセスを行いたい場合は、IPアドレスにグローバルIPアドレスを入力し、内部IPアドレスにプライベートIPアドレスを入力して下さい。
- パケットのダウンロード:** サーバのIPアドレスまたはDNS名が入力されたサーバパケットを作成した後、ISL Conference Proxy、ISL Light Desk、ISL Light Clientの各実行ファイルをダウンロードして下さい。
- ISL Conference Proxyのインストール:** インストールウィザードを起動し、ISL Conference Proxyを貴社サーバにインストールして下さい。
- システムの設定:** ISL Conference Proxyを設定し、ファイアウォール上で指定されたポートを開放して下さい。

オンプレミスライセンス種別	30日間無料体験
終了日時	29.10.2011 10:11 パケットの新規作成

ISL Conference Proxy をサーバ上で使用するには、サーバの IP アドレスまたは DNS 名を入力する必要があります。IP アドレスまたは DNS 名を入力したら、ウィザードに従ってパケットを作成します。

オンプレミス(サーバ)ライセンス :: パケット | ログアウト

ISL Onlineシステムを貴社サーバ上で稼動するための設定を行います。サーバのIPアドレスまたはDNS名を入力して下さい。入力された情報が、ISL Conference Proxyサーバに関連付けられます。

ISL Conference ProxyをインストールするサーバのIPアドレスまたはDNS名を入力するか選択して下さい。

新規パケット

IPアドレスまたはDNS名	<input type="text" value="192.168.0.1"/>
内部IPアドレス	<input type="text"/>
リリース	<input type="text" value="ISL Conference Proxy 3.4.0"/>

内部 IP アドレスは必須ではありません。内部 IP アドレスは、ISL Conference Proxy をインストールしたサーバがプライベートネットワーク内にあり、オペレータおよびクライアントが当該ネットワーク外からアクセスする場合のみ必要になります。その場合は、ルータなどに設定されたグローバル IP アドレスを [IP アドレスまたは DNS 名] に入力し、[内部 IP アドレス] にサーバのプライベート IP アドレスを入力します。

※ 内部 IP アドレスを入力する場合には、イントラネットの IP 範囲（プリフィックス値で指定されるネットワーク部の [172*]、[10*]、[192*]、[164*]、[200*]、[129*]）と一致している必要があります。

2.1.4 ライセンスファイルとインストーラーの取得

パケットの作成が完了すると、以下のページに Readme とライセンスファイルのリンクが表示されるので、それぞれのページにてファイルを取得します。



ISL Online オンプレミスライセンスのパケットは、指定したIPアドレスまたはDNS名に関連付けて生成されます。
ISL Online サーバライセンスのパケットは、指定したIPアドレスまたはDNS名に関連付けて生成されず
Proxyと記載されている項目 (Windows) からパケットをダウンロードし、貴社サーバへインストールして下
場合は、「パケットの新規作成」をクリックして下さい。
※3.0.4以前のバージョンの場合は、ISL Conference Proxy(win)、ISL Light Desk、ISL Light Clientを
し。

パケットの新規作成

作成されたパケット:

パケット	
リリース:	ISL Conference Proxy 3.4.0 (30日間無料体験パケット)
このパケットの作成日時:	13.08.2010 15:06
IPアドレス:	192.168.0.1
ライセンスの終了:	12.09.2010
同時接続数:	2
年間保守サポートの終了:	12.09.2010
ファイル:	Readme.html confproxy-3-4.license
コメント:	

ライセンスファイルの取得

[confproxy-3-4.license] をクリックして、ライセンスファイル (confproxy-3-4.license) をダウンロードします。

インストーラーの取得

[Readme.html] をクリックして、表示されるページから ISL Conference Proxy 3.4.0 のインストーラーをダウンロードします。

ISL Conference Proxy 3.4.0 のインストーラ

「ISL_Conference_Proxy_3_4_0_22389_win32.exe」

2.2 ISL Conference Proxy のインストール

このセクションでは、ISL Conference Proxy を新規にインストールする場合の手順を説明します。導入済みの ISL Conference Proxy をアップグレードする場合はこのセクションではなく、「3. アップグレード」を参照してください。

(※なお、インターネットに未接続のサーバーにインストールする場合は、後述の「インターネットに未接続のサーバーにインストールする場合」を参照してください)

2.2.1 プログラムのインストール権限を持つアカウントで、サーバーにログインします。

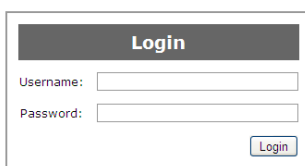
2.2.2 手順 2.1.4 にてダウンロードしたインストーラ「ISL_Conference_Proxy_3_4_0_22389_win32.exe」をダブルクリックし、ISL Conference Proxy をサーバーにインストールします。表示されるインストールウィザードに従ってください。

2.2.3 インストールが完了すると、ブラウザ上で ISL Conference Proxy の管理画面 (ISL Conference Proxy administration) が自動的に開きます (管理画面が開くまで時間がかかる場合があります)。

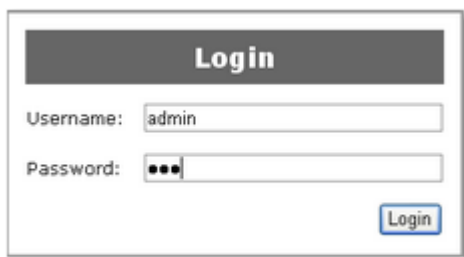
管理画面は、Windows のスタートメニューから

[ISL Conference Proxy]-[Web administration]をクリックするか、ブラウザで「http://localhost:7615/conf」と入力して開くこともできます。

ISL Conference Proxy administration



ログイン画面が開いたら、[Username]に「admin」、[Password]に「asd」と入力してログインします。



2.3 ライセンスファイルの適用

ISL Conference Proxy を適切に動作させるには、有効なライセンスファイルが必要になります。ライセンスファイルを登録していない場合やライセンスの期限が切れた場合は、ISL Light および ISL AlwaysOn でセッションを開始することはできません。

画面左側のメニューから [Licenses] を選択します。

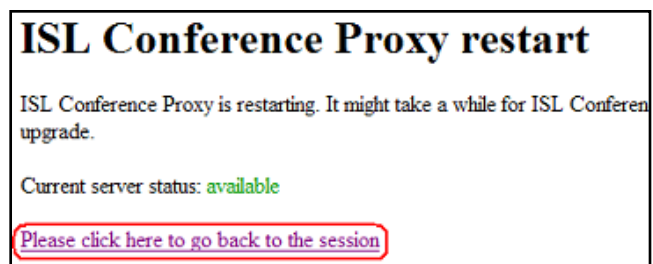
[参照] をクリックして保存したライセンスファイルの場所を指定し、[Install] をクリックしてファイルを適用します。ファイルがアップロードされると [Restart ISL Conference Proxy] ボタンが表示されるので、クリックして ISL Conference Proxy を再起動します。



Licenses

Install license

再起動が正常に終了すると、[Please click here to go back to the session] のリンクが表示されます。このリンクをクリックすると、ISL Conference Proxy のログイン画面が表示されます。リンクが表示されない場合は表示されるまでしばらく待ちます。



2.4 オンラインアップデート

このセクションでは、ISL Conference Proxy のほか、ISL AlwaysOn などの ISL 各種製品のモジュール、プログラム、プラグインなどをオンラインでアップデートする手順を説明します。

2.4.1 画面左側のメニューから [Manage Software] > [Online update] を選択します。

Online update

Note: Most upgrades will require ISL Conference Proxy restart. Please do so, when the notification appears. Be sure to check online updates again, when upgrading ISL Conference Proxy itself, since more module updates might be available afterwards.

Module	Installed version	Action
ISL Conference Proxy Install programs: 7	3.4.0 (2011-11-10) win32	Automatic install
DNS Server	1.1.0 (2011-11-10)	No change
GeoIP	1.2.0 (2011-11-10)	Default (automatic install)
Integration Calogi	not installed	Default (no change)
ISL AlwaysOn Install programs: 3	2.0.0 (2011-11-10)	Automatic install
ISL Light Install programs: 16 Install plugins: 4 Install translations: 2011-11-22 12:14:59 (ar bg ca da de el en es et fi fr he hi hr hu it ja mk nl no pl pt ptbr ro ru sl sq sr srl sv zh zhs), new languages: (ptbr)	3.3.7 (2011-11-10)	Automatic install
Locale	1.0.5 (2011-02-17)	No change
Network Time	1.1.0 (2011-11-10)	No change
System Monitor	1.0.5 (2010-09-10)	No change

Apply changes

※新しい Ver. のモジュールやプログラムが見つかった場合は、各製品の下に緑字で情報が表示されます。

2.4.2 各製品のモジュールやプログラムに対し、プルダウンメニューから実行内容を選択します。通常は [Default (automatic install)] を選択してください。

Module	Installed version	Action
ISL Conference Proxy Install programs: 7	3.4.0 (2011-11-10) win32	No change Default (automatic install) No change Automatic install Manual install Uninstall all
DNS Server	1.1.0 (2011-11-10)	No change Default (automatic install) No change Automatic install Manual install Uninstall all
GeoIP	1.2.0 (2011-11-10)	No change Default (automatic install) No change Automatic install Manual install Uninstall all

- ・ Default (デフォルト※)
- ・ No change (変更なし)
- ・ Automatic install (自動インストール)
- ・ Manual install (マニュアルインストール)
- ・ Uninstall all (全てアンインストール)

※デフォルト選択時は、手順 2.4.1 で緑字で表示された各種モジュールとプログラムが、自動でインストールされます。

(補足) Manual install の場合

プルダウンメニューから [Manual install] を選択し、更新/変更したいモジュール (プログラム) を個別に選択します

ISL AlwaysOn **1.2.3dev12 (2010-02-02)** **Manual install**

Module

- ISL AlwaysOn 1.2.2 (2009-09-25) win32 [downgrade]
- ISL AlwaysOn 1.2.1 (2009-05-12) win32 [downgrade]
- ISL AlwaysOn 1.2.0 (2009-04-07) win32 [downgrade]
- ISL AlwaysOn 1.1.0 (2008-09-23) win32 [downgrade]
- Uninstall

Programs

- ISL AlwaysOn 1.0.0 (2008-05-26) win32
- ISL AlwaysOn Connect 1.0.0 (2008-05-26) win32
- ISL AlwaysOn Connect 1.0.1 (2008-06-20) win32
- ISL AlwaysOn 1.1.0 (2008-09-24) win32
- ISL AlwaysOn Connect 1.1.0 (2008-09-24) win32
- ISL AlwaysOn 1.2.0 (2009-05-12) win32
- ISL AlwaysOn Connect 1.2.0 (2009-05-12) win32
- ISL AlwaysOn 1.2.1 (2009-05-15) win32
- ISL AlwaysOn 1.2.2 (2009-09-28) win32
- ISL AlwaysOn Connect 1.2.3 (2010-02-09) linux
- ISL AlwaysOn 1.2.3 (2010-02-09) mac
- ISL AlwaysOn 1.2.3 (2010-02-09) macppc
- ISL AlwaysOn 1.2.3 (2010-03-12) win32
- ISL AlwaysOn 1.2.4 (2010-03-23) win32

クリック

クリック

2.4.3 画面左下にある [Apply changes] をクリックします。

Network Time **1.1.0 (2011-11-10)** **No change**

System Monitor **1.0.5 (2010-09-10)** **No change**

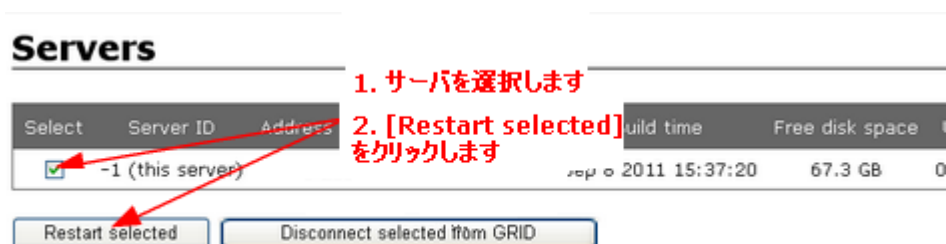
Apply changes

2.4.4 アップグレードの準備が行われます。グレー画面が消えるまでお待ちください。



2.4.5 サーバーの再起動を行います。

1. 管理画面にログインし、[Activity monitor]-[Servers]を選択します。
2. サーバーのチェックボックスをオンにし、[Restart selected]ボタンをクリックします。



3. [ISL Conference Proxy restart]ページが表示されるので、[Please click here to go back to the session]のリンクが表示されたらクリックします。リンクをクリックすることにより、ログインページから再度管理画面にログインして作業を続けることができます。サーバーの再起動には数分程度かかる場合もあります。

ISL Conference Proxy restart

ISL Conference Proxy is restarting. It might take a while for ISL Conference upgrade.

Current server status: **available**

[Please click here to go back to the session](#)

※補足

再起動後、画面左側のメニューから[Manage software] > [Overview]を選択して、現在インストールされているモジュール、プログラム、プラグインなどの一覧を確認することができます。

(例：ISL Conference Proxy 3.4.0 のインストールが正常に行われた場合は、[Modules]欄のISL Conference ProxyのVersionが「3.4.0」になっています。)

必要なモジュール、プログラム、プラグインが正しくインストールされていない場合は、オンラインアップデートを複数回繰り返してください。

3 アップグレード

バージョン 3.2.9 以前の ISL Conference Proxy を最新版(3.4.0)へアップグレードするには、以下の手順に従ってください。

【重要】

最新版の ISL Conference Proxy 3.4 へアップグレードするには、データベースのインデックスを再構築する必要があります。お客様のご使用環境により異なりますが、この再構築には 1GB 当たり約 5 分から 30 分程度時間がかかります。

アップグレードの状況は、Confproxy_server.log (※) を開いて確認することができます。

(※変更していない場合 : C:\¥Program Files¥ISL Conference Proxy)

1. Windows のスタートメニューから [コントロールパネル]-[管理ツール]-[サービス] を選択して、[ISL Conference Proxy] を停止します。必ず ISL Conference Proxy フォルダのバックアップを行って下さい。

2. マイアカウントページ (<https://www.islonline.com/account/login>) にログインします。

3. マイアカウントページの [オンプレミスライセンス] > [情報] をクリックし、[パケットの新規作成] をクリックします。

4. [パケットの新規作成] 手順に従って、新規パケットを作成します ([2.1 ライセンスファイル (パケット) と各種ファイルの取得] を参照してください)。

※ (補足) 現在ご使用中のライセンスファイルは引き続き ISL Conference Proxy 3.4 でご使用いただけますが、次回ライセンス更新時に、新しいライセンスファイル (パケット) を作成していただくこととなりますので、この機会に新しいライセンスファイル (パケット) を作成していただくことをお勧めします。

5. パケットが正常に作成されたら、以下の手順に従ってライセンスファイルのアップロードを行います。

- ① 新しいライセンスファイル (confproxy-3-4.license) をダウンロードします。
- ② ISL Conference Proxy の管理画面を表示します。(管理画面は、[スタート]メニューまたは <http://localhost:7615/conf> からアクセスできます)

- ③ ユーザー名 [admin]、パスワードは [asd] でログインします。(変更していない場合)
- ④ 左側のメニューから [Licenses] をクリックし、①でダウンロードしたライセンスファイル (confproxy-3-4.license) をアップロードし、再起動を行います。
- ⑤ 左側のメニューから [Licenses] をクリックし、アップロードを行ったライセンスファイルの情報が反映されているかどうか確認します。

6. 画面左側のメニューから [Manage Software] > [Online update] を選択して、オンラインアップデートを行います。

(ISL Conference Proxy 3.4.0 のほか、ISL Light、ISL AlwaysOn などの必要なモジュール、プログラム、プラグインなどをダウンロードします。オンラインアップデートの方法については、2.4「オンラインアップデート」を参照してください)

7. アップグレードの状況は、Confproxy_server.log (※) を開いて確認することができます。(※変更していない場合 : C:\Program Files\ISL Conference Proxy)

データベースのインデックスの再構築が終了している場合は、Confproxy_server.log の中に “Server is fully operational” の一文が表示されます。

8. ISL Conference Proxy を再起動し、再び [Manage Software] > [Online update] を選択して、オンラインアップデートを行います。

9. ISL Conference Proxy を再起動し、画面左側のメニューから [Manage software] > [Overview] を選択します。

[Modules] の ISL Conference Proxy の Version が 「3.4.0」 になっているほか、ISL Light、ISL AlwaysOn などの必要なモジュール、プログラム、プラグインが正しくインストールされていることを確認します。

以上でアップグレードの手順は終了です。

(必要なモジュール、プログラム、プラグインが正しくインストールされない場合は、オンラインアップデートを複数回繰り返してください。)

※（補足）インターネットに未接続のサーバーにインストールする場合

インターネットに未接続のサーバー ISL Conference Proxy をインストールする場合は、以下の手順に従ってください。

1. 各種ファイルの取得

インターネットに接続されている PC から、以下のファイルを取得しておきます。

- A) ライセンスファイル (2.1 を参照してください)
- B) ISL Conference Proxy 3.4.0 のインストーラー (2.1 を参照してください)
- C) モジュール関連 ZIP ファイル

ダウンロード先 URL : <http://www.oceanbridge.jp/isl/cp/340/software.zip>

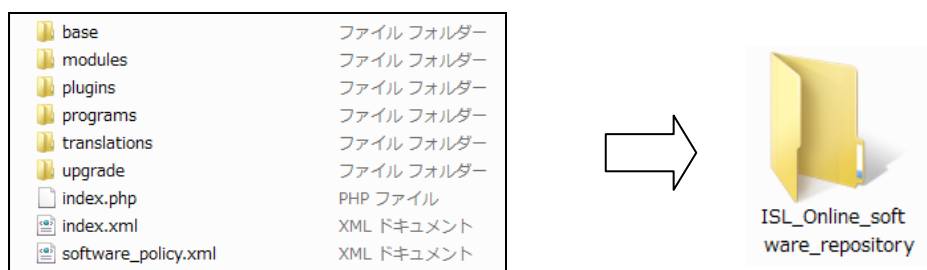
2. ISL Conference Proxy のインストールを行います: (2.2 を参照してください)

3. ライセンスファイルを適用します: (2.3 を参照してください)

4. C ドライブ直下に、以下の名前のフォルダーを作成します。

「ISL_Online_software_repository」

5. 1-C) で保存した ZIP ファイルを解凍し、中身のファイルおよびフォルダーを、すべて 4 で作成したフォルダー内に移動します。



6. 画面左側のメニューから [Manage Software] > [Manual update] を選択します。Manual update の画面に切り替わります。

7. [Enter the full path to the software repository:] の欄で、[Use standard location] が選択されていることを確認し、[Save] をクリックします。

Current software update 欄の URL が、「file:///C%3a/ISL_Online_software_repository」に変わります。

Manual update

If the server is firewalled from the internet and it is not possible to use [Online update](#) with a remote software repository, the manual update procedure may be used to upgrade ISL Conference Proxy.

Please follow the steps:

1. Download [ISL_Online_software_repository.zip](#) and extract it into a folder of your choice (for example: C:\ISL_Online_software_repository)

2. Enter the full path to the software repository:

Use standard location: C:\ISL_Online_software_repository
 Use custom location:

Current software update URL is set to: file:///C%3a/ISL_Online_software_repository

3. Start:

8. 画面内の [Online update] をクリックします。

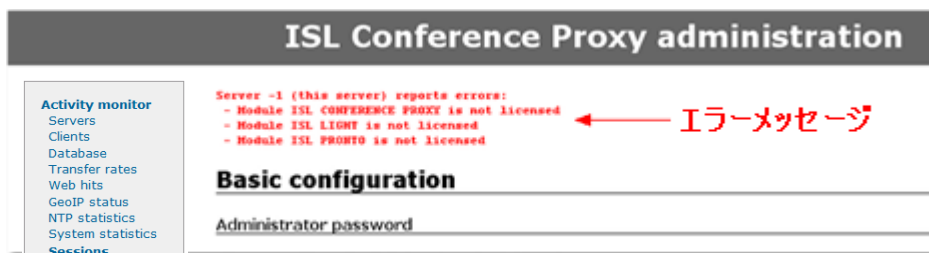
9. [Online update] 画面が開きます。アップデートを行います。

(ISL AlwaysOn など必要な各種 ISL 製品のモジュール、プログラム、プラグインなどをアップデートします。アップデートの手順は、2.4 を参照してください)

以上でインストールは終了です。

エラーメッセージ

ISL Conference Proxy がエラーを検出すると、赤い文字でエラーメッセージが表示されます。(表示されるエラーは環境により異なります)



Module ISL Conference Proxy is not licensed

ライセンスファイルが適用されていない場合は、上記のメッセージが表示されます。このメッセージが表示される場合は、[2.1 ライセンスファイル (パッケージ) と各種ファイルの取得] および [2.3 ライセンスファイルの適用] を参照してください。

NTP synchronization error

ISL Conference Proxy は、NTP(ネットワーク・タイム・プロトコル)を使用してプログラム内の時刻を同期します。しかし、NTP が使用するポートが解放されていない場合は、上記のメッセージが表示されます。

その場合は、当該サーバーもしくは社内のファイアウォールなどで、UDP 接続のポート 123(外向き)の通信を許可してください。なお、NTP を使用した同期が行えない場合、ISL Conference Proxy はインストールされたサーバー機の日付と時刻を使用するため、本メッセージが表示されていても ISL Conference Proxy の使用には影響はありません。

Cannot bind TCP port 80

Cannot bind TCP port 443

本メッセージが表示される場合は、ポート 80 および 443 が既に Web サーバーなどに使用されている可能性があります。解決方法については、次の「5 ネットワークの設定」に進んでください。

4 ネットワークの設定

ISL Conference Proxy のインストールが完了したら、ネットワークの設定を行います。これにより、接続時に発生する問題を回避できます。

ファイアーウォールの設定

ISL Conference Proxy を適切に動作させるには、TCP ポートの設定が必要になります。ファイアーウォールでポート 80 (必須ではありません)、443 (必須ではありません)、7615 (必須) の各ポートを開放してください。

ポート 80 および 443 で既に Web サーバーが実行されており、ISL Conference Proxy の管理画面でエラーが表示される場合は、以下の手順に従ってください。

A) 実行している Web サーバー (IIS など) が必要ない場合

1. [管理ツール]-[インターネット インフォメーション サービス (IIS)] から [既定の Web サイト] を選択し、[停止] をクリックします。
2. IIS が停止したら、ISL Conference Proxy を再起動します。

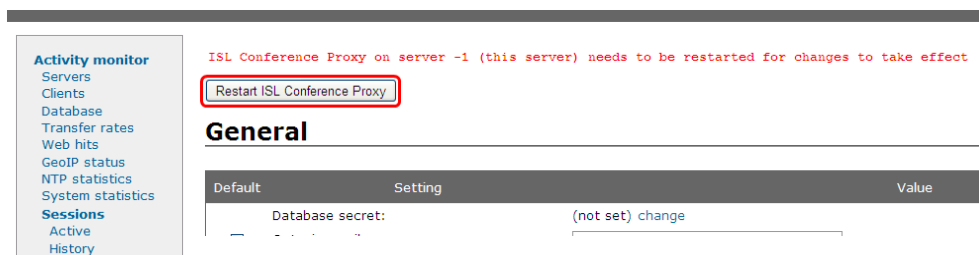
B) Web サーバーを使用しており、無効にできない場合

1. ISL Conference Proxy の管理画面にログインし、左メニューの [General] をクリックします。
2. [HTTP ports:] のチェックを外し必要に応じてポート 80 または 443 を削除します。
例：ポート 80 を削除する場合

The screenshot shows the 'ISL Conference Proxy administration' interface. At the top, a red error message reads: 'Server -1 (this server) reports errors: - Cannot bind TCP port 80'. Below this is the 'General' settings page. A table lists various settings with checkboxes and values. The 'HTTP ports:' setting is highlighted with a red box and shows the value '443, 7615'. Other settings include 'Outgoing mail server', 'Default e-mail from address', 'System e-mail goes to', 'Installation name', 'Bind IP on server -1', 'HTTP use SSL', and 'HTTP SSL certificate'.

Default	Setting	
	Database secret:	[*****] change
<input checked="" type="checkbox"/>	Outgoing mail server:	localhost
<input checked="" type="checkbox"/>	Default e-mail from address:	admin@localhost
<input checked="" type="checkbox"/>	System e-mail goes to:	admin@localhost
<input checked="" type="checkbox"/>	Installation name:	
<input checked="" type="checkbox"/>	Bind IP on server -1:	
<input type="checkbox"/>	HTTP ports:	443, 7615
<input checked="" type="checkbox"/>	HTTP use SSL:	No
<input checked="" type="checkbox"/>	HTTP SSL certificate:	main.cert

3. 画面右下の[Save]ボタンをクリックします。
4. [Restart ISL Conference Proxy] ボタンが表示されるので、クリックして ISL Conference Proxy を再起動します。



5. 再起動が正常に終了すると、[Please click here to go back to the session] のリンクが表示されるので、クリックして管理画面に戻ります

ISL Conference Proxy は、ポート 7615 だけで稼働することもできます。ただし、この方法を実行した場合は、ファイアウォールで保護されていないユーザーだけが ISL Conference Proxy にアクセスできるようになります。一部の状況で使用できる代替手段としては、21 (FTP)、110 (POP3)、143 (IMAP) など、よく使われる他のポートで動作するように ISL Conference Proxy を設定する方法もあります。

ISL Conference Proxy が使用するポートを変更する場合は、上記のポート 80 を削除するように、[General] ページ内の [HTTP ports] フィールドをクリックして既存のポートの削除および任意のポートの追加を行ってください。

なお、ポートを無効にした場合や変更した場合は、セッションを開始する前に再度 ISL Light のモジュールを取得する必要があります。ISL Conference Proxy と ISL Light のポート設定が異なる場合は、セッションを行う際にエラーメッセージが表示されます。

ポートの詳細

- ・ ポート 7615: ISL Conference Proxy の機能の大半を制御するメインのポートです。主に以下の機能で使います。
 - A) 管理画面へのアクセス (<http://localhost:7615/conf>)
 - B) プログラム類のダウンロード (<http://localhost:7615/start>)
 - C) ISL Light および ISL AlwaysOn のセッション
- ・ ポート 80 および 443: ファイアウォールで保護されているネットワークでセッションを行うための、メインポート(7615)の代替ポートです。

IP アクセス制限

ISL Conference Proxy の管理画面へのアクセスを、特定の IP アドレスのみに制限することができます。デフォルトでは、管理画面へのアクセスはローカルマシンだけに制限されています。ネットワーク内の別のコンピュータから ISL Conference Proxy にアクセスしたい場合は、以下の手順で設定を行います。

1. [Configuration]-[Security]を開きます。
2. [Allowed IP addresses for administration]のチェックを外してアクセス元コンピュータの IP アドレスを入力します。
3. 右下の [Save] ボタンをクリックして設定を保存します。

Security

Default	Setting	Value	
<input checked="" type="checkbox"/>	Filters that define access to web pages:		Local override
<input checked="" type="checkbox"/>	User can view own sessions:	Yes	Local override
<input checked="" type="checkbox"/>	User can control own sessions:	Yes	Local override
<input checked="" type="checkbox"/>	User can view sessions in domain:	No (allow override)	Local override
<input checked="" type="checkbox"/>	User can control sessions in domain:	No (allow override)	Local override
<input checked="" type="checkbox"/>	User can view all sessions on server:	No (allow override)	Local override
<input checked="" type="checkbox"/>	User can control all sessions on server:	No (allow override)	Local override
<input checked="" type="checkbox"/>	View network status:	No (allow override)	Local override
<input checked="" type="checkbox"/>	Valid password format (regex):		Local override
<input checked="" type="checkbox"/>	Invalid password error:	Password has invalid characters	Local override
<input checked="" type="checkbox"/>	Valid e-mail format (regex):		Local override
<input checked="" type="checkbox"/>	Invalid e-mail error:	E-mail has invalid characters	Local override
<input type="checkbox"/>	Allowed IP addresses for administration:	<input type="text" value="192.168.0.1"/>	Local override
<input checked="" type="checkbox"/>	Must use SSL for administration:	No	Local override
<input checked="" type="checkbox"/>	Allowed IP addresses for XMLMSG:		Local override
<input checked="" type="checkbox"/>	Must use SSL for XMLMSG:	No	Local override
<input checked="" type="checkbox"/>	External authenticator:		Local override
<input checked="" type="checkbox"/>	Authenticode enabled:	No	Local override
<input checked="" type="checkbox"/>	Authenticode publisher certificate file (PKCS#7):	codesign_certificate.p7b	Local override
<input checked="" type="checkbox"/>	Authenticode private key file (PEM):	codesign_privatekey.pem	Local override
	Authenticode private key passphrase:	(not set) change	Local override

なお、ローカルマシンからのアクセスは常に許可されます。

- ・ [Must use SSL for administration] を有効にすると、SSL で暗号化された接続のみを許可します。

3 ISL Conference Proxy の各種設定について

管理画面内の左メニュー、[Configuration]-[Basic]をクリックして表示される[Basic configuration]ページには、ISL Conference Proxy を適切に動作させるために必要な設定項目が含まれています。これらの基本設定は、画面左側のメニューから個別に選択することもできます。

ISL Conference Proxy admin

Activity monitor

- Servers
- Clients
- Database
- Transfer rates
- Web hits
- GeoIP status
- NTP statistics
- System statistics

Sessions

- Active
- History

Configuration

- Basic
- General
- Security
- ISL AlwaysOn
- ISL Light

Advanced

- Customize
- Integration
- Programs
- Plugins
- Actions
- Security
- Bulk files
- File storage
- Raw data

GRID

- Create
- Connect
- Load balancing
- Settings
- Synchronization

DNS server

- Zones
- Settings

Network time

- Client
- Server

User management

Manage software

- Licenses
- Overview
- Online update
- Manual update
- Features

Logout

Basic configuration

Administrator password 管理者パスワード

This password is used to login into the web administration. Please, set the password.

Password:

Password again:

E-mail setup 電子メール通知

ISL Conference Proxy sends various information via e-mail. Please, enter the fields, session invitations, etc.

Outgoing (SMTP) server:

Default from e-mail address:

System e-mail goes to:

Relay test e-mail address:

Licenses ライセンス

Each service needs a license to operate. If you do not install a license, the service will not work.

See also: Licenses

Software ソフトウェア

Modules, programs and plugins need to be installed on a fresh installation of ISL Conference Proxy. Please, install everything.

See also: Online update

Users ユーザ

In order to enable users to login into ISL Conference Proxy and use the services, they must be created (the user 'admin' can be used only for web administration, it is a security measure). Each user must be assigned to a group. In order to create a new user, you can use the already provided domain called *default*.

See also: User management

管理者パスワード

ISL Conference Proxy にログインする際に使用します。デフォルトのユーザー名は admin、パスワードは asd です。ユーザー名は変更できませんが、ログインパスワードは変更することをお勧めします。

電子メール通知

ISL Conference Proxy では、システムのステータスをメールで送信するように設定することができます。この機能を設定すると、問題が発生した場合に自動で通知されるため、迅速な処置を取ることができます。

- ・ **Outgoing (SMTP) server**: このフィールドでは貴社のメールサーバーを設定します。その際は、サーバーのファイアーウォールでポート 25 を開く必要があります。また、管理者のメールアドレスがこのメールサーバーのローカルなアカウントでない場合は、ISL Conference Proxy からのメールが中継されるようにする必要があります。
- ・ **Default from e-mail address**: このフィールドには管理者のメールアドレスか、任意のメールアドレスを設定します。ここで設定したメールアドレスは、送信元アドレスとして扱われます。必ずしも有効なものでなくてもかまいませんが、アドレスのドメイン名は確実に存在するものでなければなりません。ドメイン名が存在しない場合、ISL Conference Proxy は通知メールを送信できなくなります。
- ・ **System e-mail goes to**: このフィールドには、管理者のメールアドレスを設定します。カンマで区切ることにより、複数のアドレスも指定できます。指定するメールアドレスは有効なものである必要があります。
- ・ **[Save and send test e-mail]** をクリックすると、設定が保存され、テスト用のメールがシステム管理者のメールアドレスに送信されます。これにより、設定が適切かどうかを確認できます。

ライセンス

ライセンスの登録については手順[2.1 ライセンスファイル（パッケージ）と各種ファイルの取得]および[2.3 ライセンスファイルの適用]を参照してください

ソフトウェア（オンラインアップデート）

各種のオンラインアップデートを行います。オンラインアップデートについては手順[2.4 オンラインアップデート]を参照してください

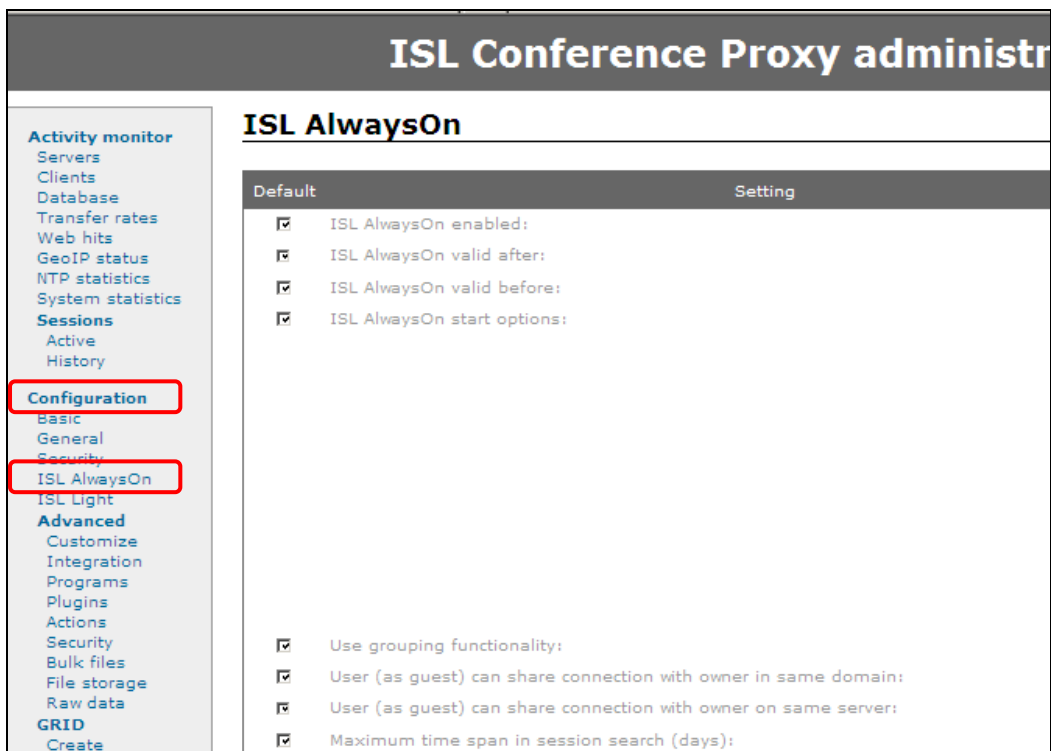
ユーザー

[Users] ページで、複数のユーザーアカウントの追加や削除を行うことができます。追加されたユーザーは、ISL Light および ISL AlwaysOn を使用して、クライアントに対するリモートサポートを実行できるようになります。ユーザーの追加や削除は、左側メニューの [User Management] から実行できます。

ユーザー管理の詳細については、「6 ユーザーの管理」を参照してください。

4 ISL AlwaysOn

管理画面ページの左メニューから [Configuration]-[ISL AlwaysOn] を選択すると、ISL AlwaysOn の各種設定を行うことができます。



グルーピング機能

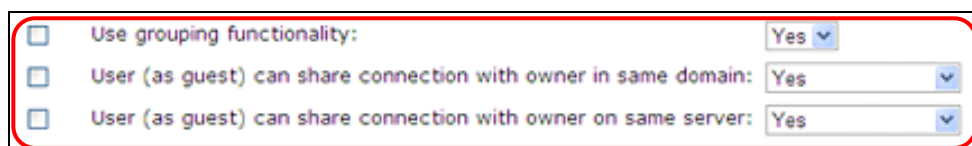
ISL AlwaysOn のグルーピング機能を使用すると、あるユーザーアカウントで登録(インストール)を行った端末を別のユーザーアカウントに紐付けることができます。

グルーピングを有効にする設定の手順および操作手順については、以下を参照してください。

ISL Conference Proxy の管理画面での設定手順

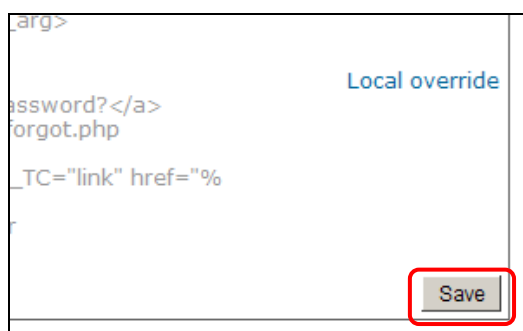
1. [ISL AlwaysOn] ページの [Use grouping functionality] のチェックを外し、ドロップダウンメニューから「Yes」を選択します。

2. [User (as guest) can share connection with owner in same domain]のチェックを外し、ドロップダウンメニューから「Yes」を選択します。
3. [User (as guest) can share connection with owner on same server]のチェックを外し、ドロップダウンメニューから「Yes」を選択します。



<input type="checkbox"/>	Use grouping functionality:	Yes
<input type="checkbox"/>	User (as guest) can share connection with owner in same domain:	Yes
<input type="checkbox"/>	User (as guest) can share connection with owner on same server:	Yes

4. 右下にある[Save]ボタンをクリックして変更を保存します。

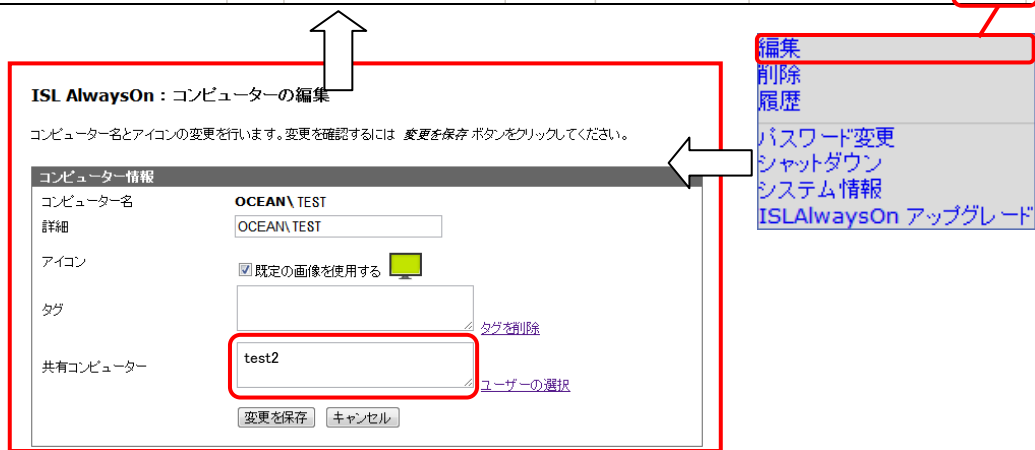
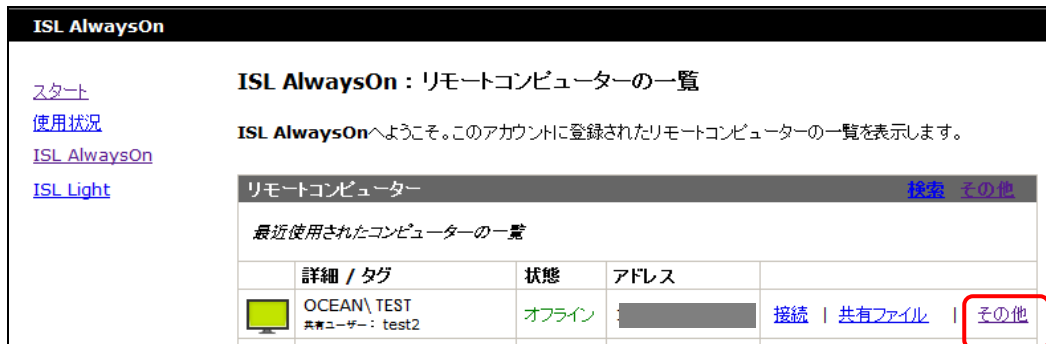


```
arg>
Local override
password?</a>
forgot.php
_TC="link" href="%
Save
```

※プロダクトログインページでの操作手順

(プロダクトログインページについては、8「プロダクトログインページ」を参照してください)

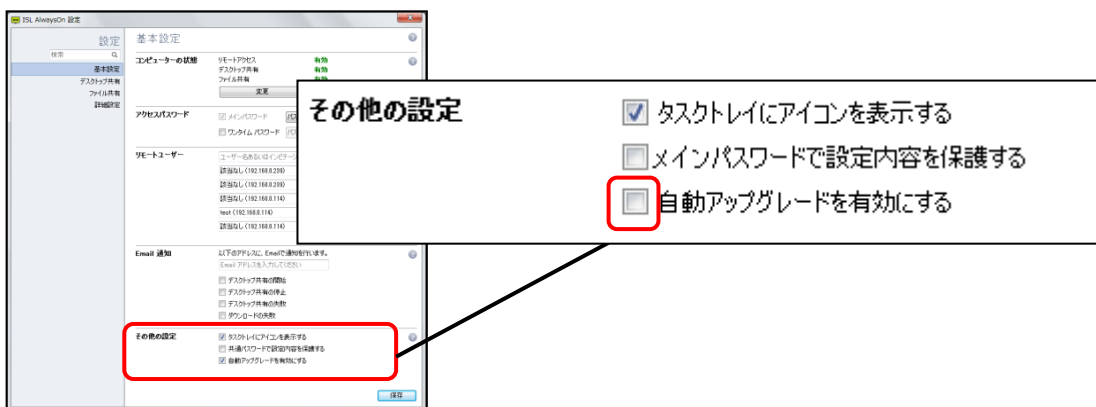
1. プロダクトログインページにログインし、ISL AlwaysOn のページを開きます。
2. 端末の横に表示されている「その他」>「編集」をクリックします。
3. 編集画面が表示されたら、[共有コンピュータ]に紐付けしたいユーザー名を入力し、「変更を保存」ボタンをクリックします。
4. 保存後は紐付けられたユーザーからも当該端末を操作することができます。



プッシュインストール機能

ISL AlwaysOn のプッシュインストール機能は、各端末にインストールされた ISL AlwaysOn を ISL Conference Proxy から強制的にアップグレードを行う機能です。デフォルト時は有効 (ON) になっています。

ISL AlwaysOn のプッシュインストール機能を使用しない場合は、クライアント端末にインストールされた ISL AlwaysOn の設定ウィンドウを開き、「基本設定」内の「その他の設定」>「自動アップデート (プッシュインストール) を有効にする」のチェックを外す必要があります。



上記の設定を行った端末では、以下の方法で最新版の ISL AlwaysOn にアップグレードすることができます。

1. ISL Conference Proxy の管理画面から [Activity monitor] - [Sessions] - [Active] のページを開きます。
2. 上記ページ内の [This server Computers] の端末のリストから、アップグレードを行いたい任意の端末の [Select] にチェックを入れます。(プッシュインストールができる端末は「Supports Upgrade」の欄に「yes」と表示されます)
3. 端末の一覧下部に表示される [Push Upgrade to selected] のラジオボタンにチェックを入れ、インストールを行う ISL AlwaysOn のバージョンを選択します。
4. [Execute] ボタンをクリックすると、当該端末でアップグレードが行われます。

The screenshot shows the 'This server Computers' management page. On the left is a navigation menu with categories like 'GRID', 'DNS server', 'Network time', 'User management', and 'Manage software'. The main content area contains a table with columns: Select, Name, Address, GUI Version, Protocol (client,server), Supports Upgrade, and Connec. Two rows are visible: OCEAN\TEC and OCEAN\VE. The 'Select' checkbox for OCEAN\VE is checked. Below the table are pagination controls and several radio button options: 'Disconnect selected', 'Disconnect selected and connect back', 'Push upgrade to selected' (which is selected), 'Drop all connections gracefully', and 'Flush all cached objects to db'. The 'Push upgrade to selected' option has a dropdown menu set to 'ISL AlwaysOn2.0.0' and an 'arguments' field containing 'cmdline=/SILENT /VERY\$'. An 'Execute' button is located at the bottom of the options.

※登録している端末を一斉に自動でアップグレードさせる場合には、ISL Conference Proxy の管理画面から [ISL AlwaysOn] のページを開き、 [Automatically upgrade computers to latest version of a program] のチェックを外し、ドロップダウンメニューから「Yes」を選択します。

<input checked="" type="checkbox"/>	Automatically update database:	No
<input type="checkbox"/>	Automatically upgrade computers to latest version of a program:	Yes
<input checked="" type="checkbox"/>	Enable push install on computer side:	Yes

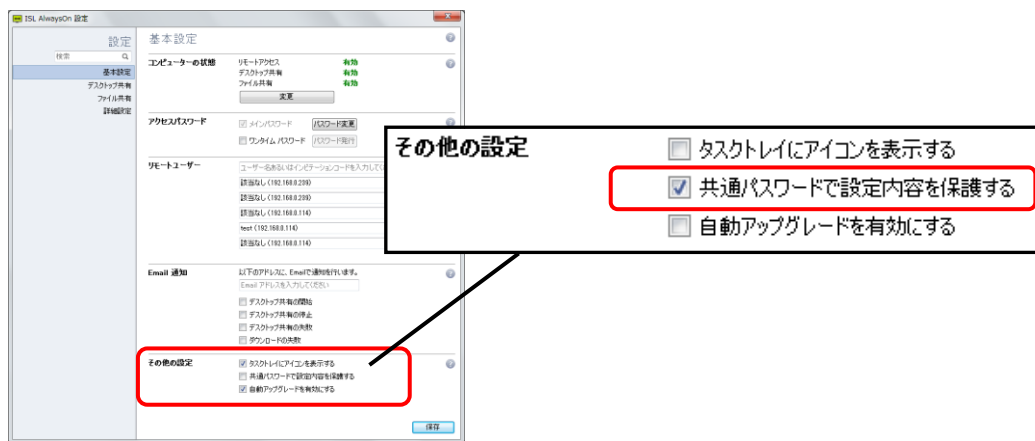
以降は [設定] > [基本設定] > [その他の設定] で [自動アップグレードを有効にする] をオンにした端末の ISL AlwaysOn が、ISL Conference Proxy から強制的に自動でアップグレード (サイレントインストール) されるようになります。(端末側の設定については、別紙『ISL AlwaysOn ユーザーズマニュアル』を参照してください)

設定の保護機能

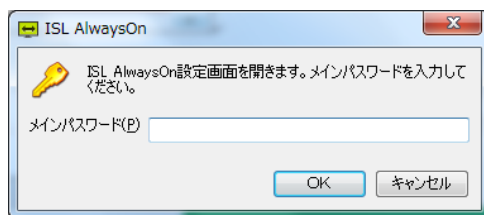
ISL AlwaysOn の「メインパスワードで設定内容を保護する」機能は、インストール時に設定したアクセスパスワードを入力しなければ、ISL AlwaysOn の「設定」ウィンドウが開けないようにする保護機能です。

各端末の設定

設定の保護機能を有効にするには、クライアント端末にインストールされた ISL AlwaysOn の「設定」ウィンドウを開き、「基本設定」内の「その他の設定」>「メインパスワードで設定内容を保護する」にチェックを入れる必要があります。



上記の設定を行った端末では、ISL AlwaysOn の設定ウィンドウを開く際、以下のメッセージ画面が表示されます。有効なメインパスワードを入力しない限り、設定画面を開くことができなくなります。



※注意： ISL Conference Proxy 管理画面の[ISL AlwaysOn]-[Protect configuration on computer side]のチェックを外して「Yes」に変更し、右下の[save]をクリックして設定を保存すると、それ以降サーバーと通信を行った全端末の ISL AlwaysOn の「アクセスパスワードで設定内容を保護する」の設定は強制的に有効になります。反対に、上記項目のチェックを外した状態で「No」に変更し、設定を保存すると、それ以降サーバーと通信を行った全端末の設定は強制的に無効になります。

アクション機能

ISL AlwaysOn のアクション機能を使用すると、各端末に対し、さまざまな機能を実行することができます。アクション機能を有効にする際の設定手順および操作手順については、以下を参照してください。

ISL Conference Proxy の管理画面での設定手順

1. [ISL AlwaysOn] ページの [User can use actions functionality] が「Yes」になっていることを確認します。（デフォルトでは「Yes」になっています）
（※アクション機能を無効にする（プロダクトログインページに表示しない）場合は、ドロップダウンメニューから [No (allow override)] を選択してください）
2. 右下にある [Save] ボタンをクリックして変更を保存します。

プロダクトログインページでの操作手順

（プロダクトログインページについては、8「プロダクトログインページ」を参照してください）

1. プロダクトログインページにログインし、ISL AlwaysOn のページを開きます。
2. 端末の横に表示されている「その他」をクリックします。
3. アクション一覧が表示されます。

ISL AlwaysOn

スタート
使用状況
ISL AlwaysOn
ISL Light

ISL AlwaysOn : リモートコンピューターの一覧

ISL AlwaysOnへようこそ。このアカウントに登録されたリモートコンピューターの一覧を表示します。

リモートコンピューター 検索 その他

最近使用されたコンピューターの一覧

	詳細 / タグ	状態	アドレス	
	OCEAN\TEST 共有ユーザー: test2	オフライン	[Redacted]	接続 共有ファイル その他

※アクションの各項目に関しては、ISL AlwaysOn 2.0.0 のマニュアルを参照してください

編集
削除
履歴
パスワード変更
シャットダウン
システム情報
ISLAlwaysOn アップグレード

ファイル共有機能

ISL AlwaysOn のファイル共有機能を使用すると、各端末のハードウェアやフォルダ、ファイルを共有することができます。ファイル共有機能を有効にする際の設定手順および操作手順については、以下を参照してください。

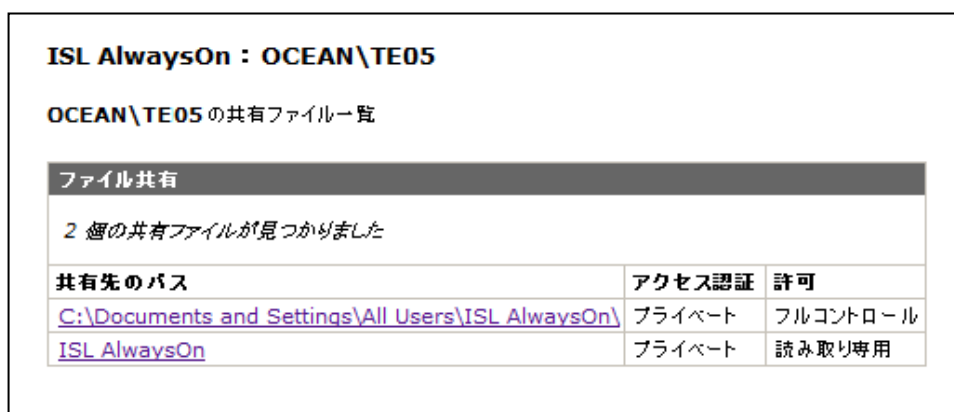
ISL Conference Proxy の管理画面での設定手順

1. [ISL AlwaysOn] ページの [User can use files functionality] が「Yes」になっていることを確認します。（デフォルトでは「Yes」になっています）
（※ファイル機能を無効にする（プロダクトログインページに表示しない）場合は、ドロップダウンメニューから [No(allow override)] を選択してください）
2. 右下にある [Save] ボタンをクリックして変更を保存します。

プロダクトログインページでの操作手順

（※プロダクトログインページについては、8「プロダクトログインページ」を参照してください）

1. プロダクトログインページにログインし、ISL AlwaysOn のページを開きます。
2. 端末の横に表示されている「共有ファイル」をクリックします。
3. 「共有ファイル一覧」が表示されます。



4. アクセスしたい共有ファイルのパスをクリックします
5. 共有ファイルの中身が参照できます。共有時に設定した許可の範囲に応じて、ファイルの読み取りやダウンロードを行うことができます。

※共有ファイルについては、ISL AlwaysOn 2.0.0 のマニュアルを参照してください

スリープモード（許可）機能

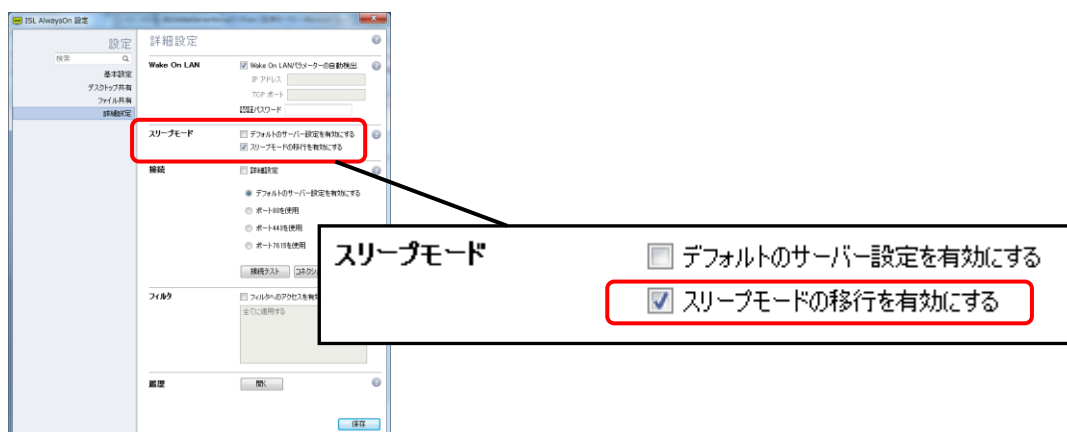
ISL AlwaysOn のスリープモード（許可）機能を使用すると、ISL AlwaysOn をインストールした端末がスリープモードに移行できるようになります。スリープモード（許可）機能を有効にする設定の手順および操作手順については、以下を参照してください。

ISL Conference Proxy の管理画面での設定手順

1. [ISL AlwaysOn] ページの [Allow computer to go into sleep mode (reconnect required)] のチェックを外し、ドロップダウンメニューから「Yes」を選択します。
2. 右下にある [Save] ボタンをクリックして変更を保存します。

各端末の設定

クライアント端末にインストールされた ISL AlwaysOn の設定ウィンドウを開き、「詳細設定」内の「スリープモード」>「デフォルトのサーバー設定を無効にする」のチェックを外し、代わりに「スリープモードの移行を有効にする」にチェックを入れる必要があります。



WakeOnLAN 機能

ISL AlwaysOn の WakeOnLAN 機能を使用すると、ISL AlwaysOn をインストールした端末をネットワーク経由で起動することができます。※

(※WakeOnLAN 機能は、各端末の電源やマザーボード、OS が ACPI 機能に対応しているほか、ネットワークアダプタがマジックパケットを解釈できる場合に有効です。また、各端末の BIOS 画面で各種設定を行う必要があります。)

プロダクトログインページでの操作手順

(※プロダクトログインページについては、8「プロダクトログインページ」を参照してください)

1. プロダクトログインページにログインし、ISL AlwaysOn のページを開きます。
2. 電源のついていない端末の横に表示されている「WOL 送信」をクリックします。
リモートコンピューターの一覧下に、“パケットが送信されました”のメッセージが表示されます

ISL AlwaysOn : リモートコンピューターの一覧

WakeOnLanのパケットが送信されました

3. ネットワーク経由で、端末が起動します。

The screenshot shows the ISL AlwaysOn interface. On the left, there are navigation links: [スタート](#), [使用状況](#), [ISL AlwaysOn](#), and [ISL Light](#). The main content area is titled "ISL AlwaysOn : リモートコンピューターの一覧". Below the title, there is a description: "ISL AlwaysOnへようこそ。このアカウントに登録されたリモートコンピューターの一覧を表示します。". A table titled "リモートコンピューター" is displayed, with a sub-header "最近使用されたコンピューターの一覧". The table has columns for "詳細 / タグ", "状態", and "アドレス". The first row shows a computer named "OCEAN\TEST" with a status of "オフライン". A red box highlights the "WOL送信" button next to the computer name. Other buttons like "共有ファイル" and "その他" are also visible.

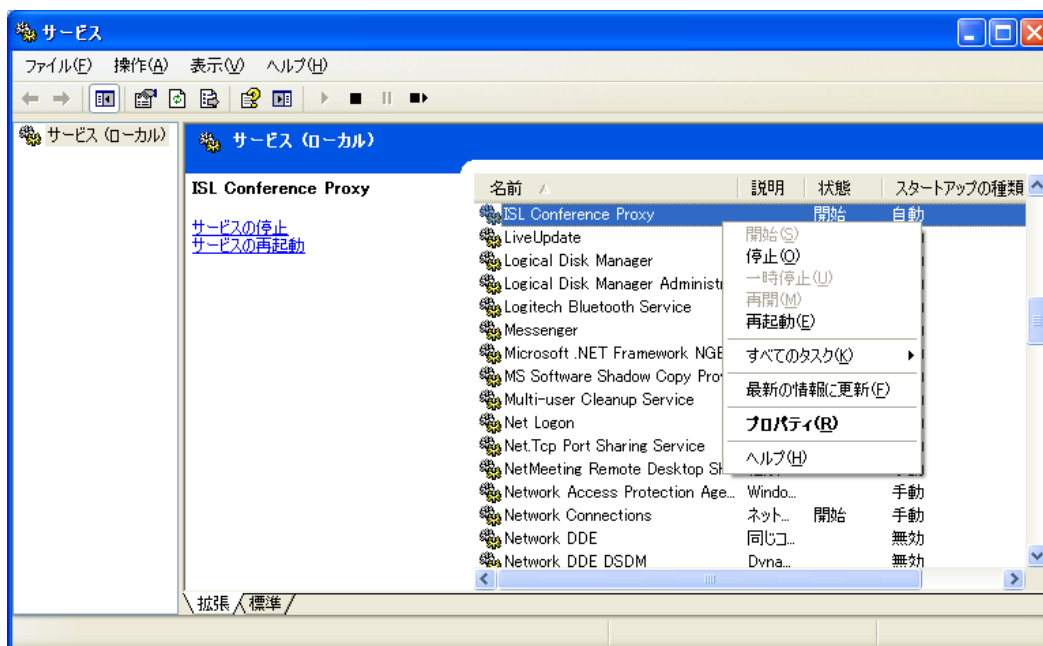
※ (補足) WakeOnLAN をプロダクトログイン画面上から削除する方法

1. ISL Conference Proxy の管理画面にログインし、[Configuration] > [ISL AlwaysOn] の画面を開きます
2. [Hide WakeOnLAN functionality(reconnect required)]のチェックボックスを外し、ドロップダウンメニューから「YES」を選択します。
3. 右下にある[Save]ボタンをクリックして変更を保存します。

5 サービスのコントロール

このセクションでは、ISL Conference Proxy サービスの開始、停止、再起動方法を説明します。

Windows の[スタート]メニューから[管理ツール]-[サービス]を開き、[ISL Conference Proxy]を選択します。



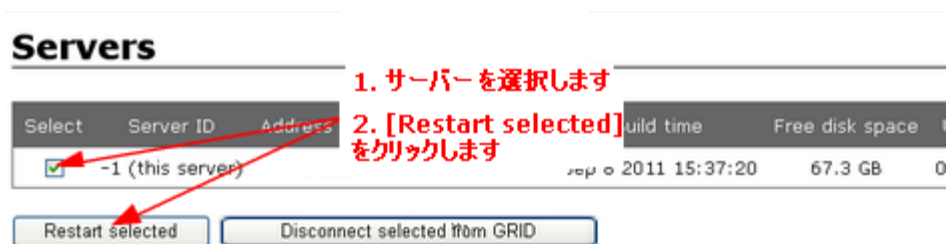
[ISL Conference Proxy]の右クリックメニューから ISL Conference Proxy の開始、停止、再起動が実行できます。

あるいは、[ファイル名を指定して実行]もしくはコマンドプロンプトで、「net start confproxy」(開始する場合)、「net stop confproxy」(停止する場合)と入力してサービスの開始および停止を実行することもできます。コンソールウィンドウは、処理の実行状況に伴って更新されます。

ISL Conference Proxy の管理画面から ISL Conference Proxy を再起動する場合は、以下の手順に従ってください。

1. 管理画面にログインし、[Activity monitor]-[Servers]を選択します。

2. サーバーのチェックボックスをオンにし、[Restart selected] ボタンをクリックします。



3. [ISL Conference Proxy restart] ページが表示されるので、[Please click here to go back to the session] のリンクが表示されたらクリックします。リンクをクリックすることにより、ログインページから再度管理画面にログインして作業を続けることができます。サーバーの再起動には数分程度かかる場合があります。

ISL Conference Proxy restart

ISL Conference Proxy is restarting. It might take a while for ISL Conference Proxy to be available again.

Current server status: **available**

[Please click here to go back to the session](#)

6 ユーザーの管理

ISL Conference Proxy を使用してセッションを開始するには、有効なユーザーアカウントを作成する必要があります。ユーザーの設定および管理は[User management]ページから実行できます。

ISL Conference Proxy をインストールすると自動的に作成される「admin」アカウントは、管理画面のログイン時のみ使用できます。また、全てのユーザーは、ドメインに属している必要があります。初期状態では、[default]というドメインのみが作成され、このドメインをそのまま使用することもできます。

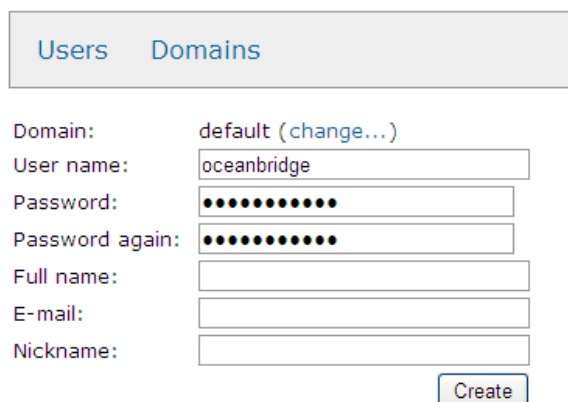
ドメインについて

多数のユーザーを管理する場合などは、追加のドメインを作成します。また、ドメインを複数作成することにより、各種設定をそれぞれのドメイン毎に適用できます。default ドメイン以外のユーザーのログインユーザー名は、「¥domain¥username」という形式になります。

新規ユーザーの作成方法

新規ユーザーを作成する際は、[User management]-[Create user]ボタンをクリックします。ユーザー名やパスワードなどの設定を入力し、[Create]ボタンをクリックします。(メール通知機能を使用しない場合には、E-mail の設定は必要ありません)

User management



The screenshot shows the 'User management' interface with two tabs: 'Users' and 'Domains'. The 'Users' tab is active. Below the tabs, there is a form for creating a new user. The form fields are: Domain (set to 'default (change...)'), User name (set to 'oceanbridge'), Password (masked with dots), Password again (masked with dots), Full name, E-mail, and Nickname. A 'Create' button is located at the bottom right of the form.

なお、ドメインに属しているユーザーを作成したい場合には、[User management]-[Domains]にて表示されるドメインの横に表示される[Create user]をクリックします。

ユーザーの削除方法

ユーザーを削除する際は、[User management]にて表示されるユーザーをクリックします。表示される画面の[Delete user]ボタンの横にあるチェックボックスにチェックを入れ、[Delete user]ボタンをクリックすることで削除できます。

User \\default\oceanbridge

Default	Setting	Value
	Domain:	<input type="text" value="default"/>
	Username:	<input type="text" value="oceanbridge"/>
	Full name:	<input type="text"/>
	E-Mail:	<input type="text"/>
	Nickname:	<input type="text"/>
	Password:	[*****] change
<input checked="" type="checkbox"/>	Login enabled:	Yes
<input checked="" type="checkbox"/>	Login valid after:	
<input checked="" type="checkbox"/>	Login valid before:	
<input checked="" type="checkbox"/>	Default program customization:	
<input checked="" type="checkbox"/>	Max concurrent usage:	unlimited
<input checked="" type="checkbox"/>	Soft concurrent usage boundary:	unlimited
	External ID:	<input type="text"/>
	Deny XMLMSG updates:	No <input type="button" value="v"/>

ドメインの作成方法

新規ドメインを作成する場合は、[User management]-[Domains]-[Create domain]ボタンをクリックし、ドメイン名を入力したら[Create]ボタンをクリックします。

User management

Users	Domains
	New domain name: <input type="text" value="ocean"/>
	<input type="button" value="Create"/>

ドメインの削除方法

ユーザーを削除する際は、[User management] - [Domains]にて表示されるドメインをクリックします。表示される画面の[Delete domain]ボタンの横にあるチェックボックスにチェックを入れ、[Delete domain]ボタンをクリックすると削除できます。

Domain ocean

Default	Setting	Value
	Name:	ocean
	Secret:	(not set) change
<input checked="" type="checkbox"/>	Login enabled:	Yes
<input checked="" type="checkbox"/>	Login valid after:	
<input checked="" type="checkbox"/>	Login valid before:	
<input checked="" type="checkbox"/>	Default program customization:	
<input checked="" type="checkbox"/>	Max concurrent usage:	unlimited
<input checked="" type="checkbox"/>	Soft concurrent usage boundary:	unlimited
	External ID:	
	Deny XMLMSG updates:	No <input type="button" value="v"/>

ユーザーの表示および検索

ユーザーのリストを表示するには、[User management]-[Users]を選択します。

ユーザーを検索するには、[User management]-[Users]の[Filter by domain]に任意のドメイン名を入力するか、[Filter by username]に任意のユーザー名を入力して、[Filter]ボタンをクリックします。

User management

Filter by domain:

Filter by username:

ドメインのリストを表示するには、[User management]-[Domains]を選択します。

ドメインを検索するには、[User management]-[Domains]の[Filter by domain name]に任意のドメイン名を入力して、[Filter]ボタンをクリックします。

User management

Users	Domains
-------	---------

Filter by domain name:

Filter

ユーザーとドメインのリストにおける各タブの説明：

各設定項目は、ユーザーおよびドメイン共に共通です。

User \\default\test

General	Security	Programs	Plugins	Actions	ISL AlwaysOn	ISL Light	Bulk files	Raw data
---------	----------	----------	---------	---------	--------------	-----------	------------	----------

Default	Setting	Value
	Domain:	default

Domain oceanbridge

General	Security	Programs	Plugins	Actions	ISL AlwaysOn	ISL Light	Bulk files	Raw data
---------	----------	----------	---------	---------	--------------	-----------	------------	----------

Default	Setting	Value
	Name:	oceanbridge
	Secret:	(not set) change
<input checked="" type="checkbox"/>	Login enabled:	Yes

- ・ **General**：ドメイン名、ユーザー名、パスワードなどの変更が行えます。
- ・ **Security**：セッションのセキュリティの設定などが行えます。
- ・ **Programs**：使用するプログラムのバージョンの選択などが行えます。
- ・ **Plugins**：ISL Light や ISL AlwaysOn が使用するプラグインの選択などが行えます
- ・ **Actions**：ISL AlwaysOn のアクション機能の有効化および無効化などが設定できます。
- ・ **ISL AlwaysOn**：ISL Alway0n の有効化および無効化などが設定できます。
- ・ **ISL Light**：ISL Light の有効化および無効化などが設定できます。
- ・ **Bulk files**：使用しません。
- ・ **Raw data**：使用しません。

7 モニタリング

ISL Conference Proxy の設定が完了すると、セッションの使用状況などの様々なイベントをモニタリングすることができます。

サーバー

通常、ISL Conference Proxy サーバーのリストには 1 台のサーバーのみ表示されます。このリストには、現時点で利用できるサーバーの一覧が表示されます。リストの各サーバーは、一意の ID を持っています。デフォルトのサーバー ID は-1 です。

Servers

サーバの再起動

Select	Server ID	Address	Connected	Version	Build time	Up time
<input type="checkbox"/>	-1 (this server)	██████████	-	3.4.0	2009-05-22 12:28	00:18:3

Restart selected Reconnect selected in GRID Disconnect selected from GRID

サーバーリストにおける各フィールドの説明

- ・ **Select**: 再起動するサーバーや切断するサーバーを選択できます。
- ・ **Server ID**: サーバー毎に割り振られた ID です。
- ・ **Address**: サーバーの IP アドレスです。
- ・ **Connected**: 使用しません。
- ・ **Version**: インストールされた ISL Conference Proxy のバージョンです。
- ・ **Build time**: インストールされた ISL Conference Proxy のプログラムが作成された時間です。
- ・ **Up time**: サーバーが起動されてからの経過時間です。
- ・ **Connected time**: 使用しません。
- ・ **Disconnected time**: 使用しません。
- ・ **ISL Light**: 現時点でアクティブな ISL Light のセッション数 (ISL AlwaysOn から起動されたセッションも含む) です。
- ・ **Service usage**: 接続されている ISL Light や ISL AlwaysOn の数が表示されます。
- ・ **Socket count**: 使用しません。

転送速度

メニューから[Activity monitor]-[Transfer rates]を選択すると、各サーバーの平均転送速度を確認できます。

Activity monitor
Servers
Clients
Database
Transfer rates
Web hits
GeoIP status
NTP statistics
System statistics
Sessions
Active
History

Configuration
Basic
General
Security
ISL AlwaysOn
ISL Groop
ISL Light
ISL Pronto
Advanced
Customize

Transfer rates

ISL AlwaysOn Grid

Server ID	Address	1 minute	5 minutes	15 minutes	1 hour
-1 (this server)		0.0 B/s, 0.0 B/s	0.0 B/s, 0.0 B/s	0.0 B/s, 0.0 B/s	0.0 B/s, 0.0 B/s

DNS server

Server ID	Address	1 minute	5 minutes	15 minutes	1 hour
-1 (this server)		0.0 B/s, 0.0 B/s	0.0 B/s, 0.0 B/s	0.0 B/s, 0.0 B/s	0.0 B/s, 0.0 B/s

GRID (total)

Server ID	Address	1 minute	5 minutes	15 minutes	1 hour
-1 (this server)		0.0 B/s, 0.0 B/s	0.0 B/s, 0.0 B/s	0.0 B/s, 0.0 B/s	0.0 B/s, 0.0 B/s

転送速度は2つの値で表されます。1つ目の値は送信速度を示し、2つ目の値は受信速度を示します。平均速度は、過去1分間、5分間、15分間、1時間について記録されます。転送速度は、3種類の異なる転送タイプごとに記録されます。

セッション

この機能を使用すると、アクティブなセッションおよび過去のセッションログを確認することができます。

アクティブなセッション

ISL Conference Proxy上でアクティブなISL Lightセッションを表示する場合は、メニューから[Sessions]-[Active]-[ISL Light]を選択します。

また、[Sessions]-[Active]-[ISL Light]に表示されるアクティブなセッションのリスト内から任意のセッションのチェックボックスを選択し[Drop selected]ボタンをクリックすると、選択したセッションを終了させることができます。

Activity monitor

- Servers
- Clients
- Database
- Transfer rates
- Web hits
- GeoIP status
- NTP statistics
- System statistics
- Sessions**
- Active
- History

Configuration

- Basic
- General

Active sessions

ISL AlwaysOn
ISL Light

Select	Session ID	Active on server	Session code	Created on
<input type="checkbox"/>	s-1_0_11	this server (-1)	63500142	2010-08-04 16:23:56
<input checked="" type="checkbox"/>	s-1_0_12	this server (-1)	98623897	2010-08-04 16:25:13
<input type="checkbox"/>	s-1_0_13	this server (-1)	02515026	2010-08-04 16:31:45

Drop selected

アクティブセッションリストにおける各フィールドの説明

- ・ **Select**: アクションを適用するセッションを選択できます。
- ・ **Session ID**: ISL Conference Proxy の内部データベース用の一意のセッション ID です。
- ・ **Active on server**: アクティブなセッションが存在するサーバーの ID です (ISL Light Desk と ISL Light Client は常に、同じサーバーに接続されます)。
- ・ **Session code**: セッションを確立するために ISL Light Client ユーザーが入力したセッションコードです。
- ・ **Created on**: セッションが作成された (ISL Light Desk がセッションコードの作成を要求した) 時間です。
- ・ **User**: ISL Light Desk ユーザーのユーザーアカウントです。
- ・ **Duration**: セッションがアクティブになっていた、もしくはなっている時間です。
- ・ **Last transfer**: データが最後に送信された時間です。この時間は、セッションの開始時から計測されます。
- ・ **Bytes transferred**: セッション中に転送されたデータの総バイト数です。
- ・ **Average B/s**: 1 秒間に転送された平均バイト数です。
- ・ **Reconnects**: セッションの再接続が行われた回数です。
- ・ **Desk、Client**: ISL Light ソフトウェアの制御データです。カンマで区切って表示されます。
 - OS
 - バージョン
 - 言語 (表示されない場合もあります)
 - IP アドレス
 - ネットワーク転送タイプ
- ・ **Desk、Client location**: 地理的なロケーション (国コード、国、市) です。GeoIP がインストールされている場合にのみ表示されます。

セッションの履歴

メインメニューから [Sessions]-[History] オプションを選択すると、セッション履歴レポートが表示されます。ここに各種パラメータを入力して検索することができます

Activity monitor
Servers
Clients
Database
Transfer rates
Web hits
GeoIP status
NTP statistics
System statistics
Sessions
Active
History
Configuration
Basic
General
Security
ISL AlwaysOn
ISL Light
Advanced
Customize

Session history

ISL Light

Search

Created after: 2010-08-05 10:40:12
Created before: 2010-08-05 12:40:12
Limit to user (use * and ?, e.g., \\domain*):
Search

Session ID	Active on server	Session code	Created on	User
e-1 0 14	this server (-1)	58823010	2010-08-05 11:23:12	\\default\test

履歴検索パラメータ

- ・ **Created after**、**Created before**: 特定の期間を指定して検索を絞り込むことができます。デフォルトでは、直前の2時間に設定されます。これら2つのパラメータは、[Created on] フィールドに基づいて検索を絞り込みます。
- ・ **Limit to user**: [User] フィールドに基づいて検索を絞り込むことができます。「*」や「?」などのワイルドカードが使用できます。

使用例

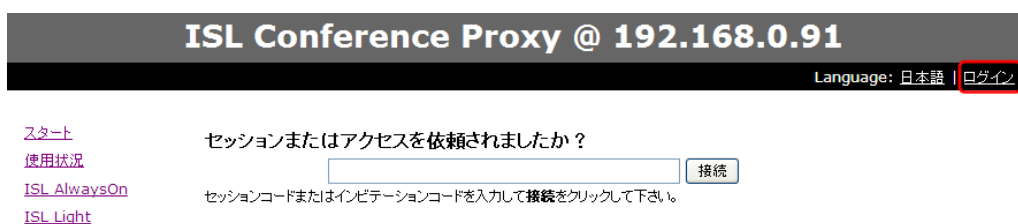
- ドメイン abc のすべてのユーザー: ¥¥abc¥*
- 名前に joe を含むすべてのユーザー: ¥¥*¥*joe*
- ユーザー名が4文字であるすべてのユーザー: ¥¥*¥????

8 プロダクトログインページ

各ユーザーが ISL Light のプログラムを取得したり、ISL AlwaysOn を使用してセッションを開始する場合は、下記の方法で ISL Conference Proxy のプロダクトログインページにアクセスします。

アクセス方法

1. ブラウザの URL に「http://***.***.***.***:7615/」（*の部分にパケット作成時に入力した IP アドレスまたはホスト名を入力してください）と入力します。（ポート 7615 を使用している場合）
2. アクセスすると以下の画面が表示されます。左側の任意のメニューもしくは画面右上の「ログイン」を選択し、「ユーザー名」と「パスワード」を入力して専用ページにログインします。



スタート

ISL Light Desk で取得したセッションコードを入力して「接続」をクリックすることにより、自動的に ISL Light Client が起動され、セッションを開始することができます。（[スタート]から ISL Light を使用する場合にはログインを行う必要はありません）

使用状況

現在使用されているセッションを表示します。また、任意のセッションの切断もできます。セッションを切断する際は、セッションのチェックボックスを選択し[セッションの切断]ボタンをクリックします。ここで選択されたセッションは 30 秒後に切断されます。

[スタート](#)
[使用状況](#)
[ISL AlwaysOn](#)
[ISL Light](#)

ライセンス使用状況

セッション利用状況					
選択	取得日	プログラム	状況	ユーザ	詳細
<input checked="" type="checkbox"/>	2010/08/05 11:23:32	ISL LIGHT	接続中	test	81510132
<input type="checkbox"/>	2010/08/05 11:23:36	ISL LIGHT	接続中	test	58823010

ISL AlwaysOn

ISL AlwaysOn がインストールされた端末へのアクセスと ISL AlwaysOn をインストールが行えます。

接続

接続したい PC の横に表示されている「接続」ボタンをクリック後、接続先端末のアクセスパスワードを入力することで、ISL AlwaysOn を使用してセッションを開始することができます。



ISL Conference Pro

ISL AlwaysOn

[スタート](#)
[使用状況](#)
ISL AlwaysOn
[ISL Light](#)

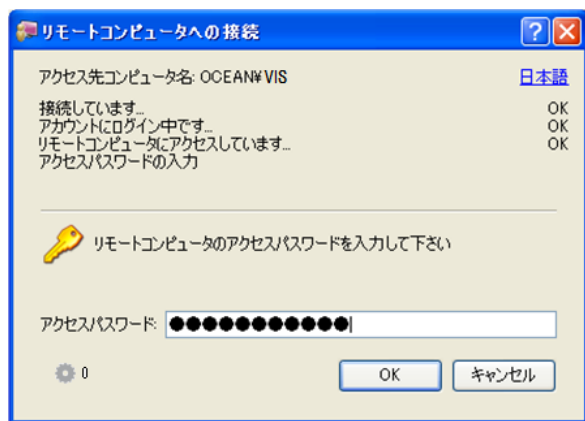
ISL AlwaysOn : リモートコンピューターの一覧

ISL AlwaysOnへようこそ。このアカウントに登録されたリモートコンピューターの一覧を表示します。

リモートコンピューター [検索](#) [その他](#)

最近使用されたコンピューターの一覧

	詳細 / タグ	状態	アドレス	
	OCEAN#VIS	オフライン		接続 共有ファイル その他




その他

・編集

コンピュータの一覧に表示されている「編集」ボタンをクリックすることで、各種設定を行うことができます。

ISL AlwaysOn : コンピューターの編集

コンピューター名とアイコンの変更を行います。変更を確認するには **変更を保存** ボタンをクリックしてください。

コンピューター情報	
コンピューター名	OCEAN\ OCEAN
詳細	<input type="text" value="OCEAN\OCEAN"/>
アイコン	<input checked="" type="checkbox"/> 既定の画像を使用する 
タグ	<input type="text"/> タグを削除
共有コンピューター	<input type="text"/> ユーザーの選択
<input type="button" value="変更を保存"/> <input type="button" value="キャンセル"/>	

- コンピュータ名 : 「ドメイン¥コンピュータ名」が表示されます。
 - 詳細 : 一覧に表示するコンピュータ名を変更します。
 - アイコン : 一覧に表示するアイコンを変更します。変更する際は「規定の画像を使用する」チェックを外し、表示される「参照」ボタンをクリックしてください。使用できる画像は PNG もしくは BMP ファイルのみです。
 - タグ : タグ名を指定することができます。指定したタグは検索の際に使用できます。
 - 共有コンピューター : 「4. ISL AlwaysOn」にて「グルーピング機能」を有効にした場合のみ表示されます。共有したいユーザー名を追加します。
- ※ (補足) 2012 年 1 月現在、共有コンピューター[ユーザーの選択]機能は使用できません

・ 削除

選択したコンピュータをリモートコンピュータの一覧から削除します。

・ 履歴

選択したコンピュータに接続した履歴が閲覧できます。

ISL Light

ISL Light の接続履歴の確認やプログラムのダウンロードができます。

「新しいセッションを開始する」をクリックすると、セッションコードを自動取得する ISL Light が起動します。

ISL Light

スタート
[使用状況](#)
[ISL AlwaysOn](#)
 ISL Light

ISL Light: リモートサポート履歴

ISL Lightへようこそ。下記からリモートサポートの履歴がご覧になります。

リモートサポートセッション履歴						
	作成日	コード	状況	期間	転送データ	クライアント
	2011/08/10 12:29:58	554490	キャンセル	00:00:00	0.0 B	
	2011/08/10 12:30:04	74414	キャンセル	00:00:00	0.0 B	
	2011/08/10 12:31:36	337847	キャンセル	00:00:00	0.0 B	
	2011/08/10 12:32:07	938829	キャンセル	00:00:00	0.0 B	
	2010/08/10 12:32:11	656863	キャンセル	00:00:00	0.0 B	
	2010/08/12 10:07:11	236008	終了	00:00:25	1.9 MB	win32, 3.
	2011/08/13 16:22:54	708341	キャンセル	00:00:00	0.0 B	
	2011/08/18 10:46:12	731078	終了	00:00:16	251.5 KB	win32, 3.
	2011/08/18 10:49:32	305917	終了	00:02:37	410.0 KB	win32, 3.
	2011/08/18 11:47:20	745806	終了	00:42:58	627.6 KB	win32, 3.

testの過去10セッションを表示しています。以上

[+ 新しいセッションを開始する](#)

ISL Light: セッション履歴

セッション履歴を見るには、検索条件を指定して、[履歴を取得](#)ボタンをクリックして下さい。

検索条件

期間

この日付以降に開始

この日付以前に開始

モジュールに限定する。「*」と「?」が使用出来ます。例: abc*

セッション履歴										
	作成日	コード	ユーザ	状況	再接続	開始日	期間	転送データ	モジュール	De
	2011/11/21 15:01:11	11519094	test	終了	1	2011/11/21 15:01:18	00:01:01	1.5 MB	ISL AlwaysOn	wir
	2011/11/21 15:08:28	47749883	test	キャンセル	0		00:00:00	0.0 B	ISL AlwaysOn	wir
	2011/11/21 17:15:14	08892271	test	終了	1	2011/11/21 17:15:19	00:00:30	267.6 KB	ISL AlwaysOn	wir

最初のページ | 前のページ | 次のページ | 表示数:

[履歴をXML形式でエクスポートする](#)

ISL Conference Proxy のバックアップ

ISL Conference Proxy は、インストール先フォルダを別の場所に保存することでバックアップを行うことができます。手順は以下の通りです。

1. ISL Conference Proxy のサービスを停止します。(Windows のスタートメニューから [コントロールパネル]-[管理ツール]-[サービス] を選択して、[ISL Conference Proxy] を停止します)
2. ISL Conference Proxy のインストールディレクトリ内にある全てのフォルダおよびファイルのバックアップを行います。(変更していない場合 : C:\Program Files\ISL Conference Proxy)

バックアップが完了したら、ISL Conference Proxy のサービスを開始してください。

9 ISL Conference Proxy の移行

ISL Conference Proxy を別のサーバーで使用する場合は、以下の手順に従ってください。

なお、ISL Conference Proxy の ISL Light と ISL AlwaysOn はダウンロードやインストールを行った際の IP アドレス (または DNS 名) に対して接続を行うため、現行機の IP アドレスが代替機と異なる場合には以下の点にご注意ください。

- A) 移行後に ISL Light を使用する際は、代替機のサーバーのプロダクトログインページから取得したプログラムを使用すること
- B) ISL AlwaysOn を使用する際は代替機のサーバーのプロダクトログインページから、再度 ISL AlwaysOn のインストールを再度行う必要があること (各端末に既にインストールされた ISL AlwaysOn の設定をそのまま使用したい場合は、代替機のサーバーの IP アドレスを現行のサーバーと同一にしてください)

また、現行機と代替機のサーバーの IP アドレスが同じ場合は、以下の手順 1~4 はスキップし、手順 5 から開始してください。

1. ISL Online のマイアカウントページにログインして[オンプレミスライセンス]から[新しいサーバーの定義]を選択し、代替機の IP アドレスを入力します。

The screenshot shows the 'My Account' page with a sidebar on the left containing navigation links: クラウドライセンス, オンプレミスライセンス (highlighted with a red box), 情報, バケット, ライセンス履歴, アクティベーション, and 設定情報. Below these is a search bar. The main content area is titled 'オンプレミス(サーバ)ライセンス :: 情報' and includes a 'ログアウト' link. A message states: 'ISL Onlineオンプレミスライセンス30日間無料体験の手続きが完了しました。ISL Online システムが貴社サーバー上で稼働するための設定を行います。次のステップに進んで下さい。' Below this is a list of steps: 1. ISL Conference Proxyをセットアップするサーバの定義, 2. 貴社サーバへのライセンスの割り当てとアドオン, 3. 貴社サーバ用バケットの新規作成. A table follows with columns 'サーバライセンス種別' and 'ライセンス状況'. The 'アカウント' row shows '新しいサーバの定義' (highlighted with a red box) and 'ライセンスの割り当て | 年間保守サポートの購入 | 追加ライセンスの購入'. The '年間保守サポート' row shows '13.09.2012 09:00'. The 'サーバ#1' row has a link 'アドレスの変更 | バケットの新規作成'. Below the table are fields for 'パブリックアドレス:', 'インターネットアドレス:', and 'ライセンス:'.

2. [ライセンスの割り当て]から手順 1 で定義した IP アドレスを選択して[変更]をクリックします。



3. 新たに割り当てた IP アドレスの横にある [パケットの新規作成] をクリックしてパケットの作成を行います。
4. 作成されたパケットの [confproxy-3-4. license] をクリックしてライセンスファイルのダウンロードを行います。
5. 現行機の ISL Conference Proxy のサービスを停止します。(Windows のスタートメニューから [コントロールパネル]-[管理ツール]-[サービス] を選択して、[ISL Conference Proxy] を停止します)
6. 現行機の ISL Conference Proxy のインストールディレクトリ内にある全てのフォルダおよびファイルのバックアップを行います。(初期値 : C:\Program Files\ISL Conference Proxy)
7. 代替機の ISL Conference Proxy のインストールを行います。(インストールの手順については「2. ISL Conference Proxy のインストール」を参照してください)
8. 代替機の ISL Conference Proxy のサービスを停止した上で、現行機の ISL Conference Proxy のインストールフォルダ (通常であれば C:\Program Files\ISL Conference Proxy) から取得した全てのフォルダおよびファイルを、代替機の上記フォルダにコピーします。
9. 代替機の ISL Conference Proxy のサービスを開始します。
10. 代替機の ISL Conference Proxy の管理画面上で [Manage software] 内の [Licenses] を選択して手順 4 で取得したライセンスファイルを指定して [install] ボタンをクリックします。(代替機の IP アドレスが現行機と同じ場合は、この作業は不要です)

10 ISL Conference Proxy のアンインストール

ISL Conference Proxy のアンインストールを行う際は、下記の手順に従ってください。

1. [コントロール パネル]から[プログラムの追加と削除]もしくは[プログラムと機能]を開き、[ISL Conference Proxy]を選択して、[削除]をクリックします。
2. ハードディスク上のすべてのデータファイルを削除する場合は、インストールフォルダ（変更していない場合 : G:¥Program Files¥ISL Conference Proxy）を削除します。

製品の詳しい情報につきましては、以下の ISL Online ウェブページをご参照ください。

<http://www.islonline.jp/>

ISL Online 開発元

XLAB d.o.o.

Pot za Brdom 100

SI-1000 Ljubljana

Slovenia, EU



URL: <http://www.xlab.si/>

ISL Online 国内総販売代理店

株式会社オーシャンブリッジ

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 1-8-3

TOC 第1ビル 9F (旧渋谷安田ビル)



URL: <http://www.oceanbridge.jp/>